

広報

あしや

No. 1082

平成24年
(2012年)

4月15日号

毎月1日・15日発行

Garden City Ashiya

発行/
芦屋市役所(広報課)
TEL. 0797-31-2121/FAX. 0797-38-2152
〒659-8501兵庫県芦屋市精道町7番6号
ホームページ
http://www.city.ashiya.lg.jp/
メールアドレス
info@city.ashiya.hyogo.jp



3月22日(木)、石巻市・亀山市長が芦屋市を訪問。石巻工業高校の甲子園出場に併せ、亀山市長が芦屋市を訪問。皆さんからの義援金(600万円)を、山中市長からお渡ししました。

津波一時避難施設の指定(追加)について

東日本大震災の教訓から、津波襲来時における一時避難場所の確保が求められる中、平成23年4月1日以降に本市が新たに指定した「津波一時避難施設」についてお知らせします。

■津波発生時における一時避難施設(追加指定分)

名称	収容人員	所在地
保健福祉センター	約1,370人	呉川町14-9
精道小学校	約280人	精道町8-25
県立芦屋高等学校	約260人	宮川町6-3
体育館・青少年センター	約1,400人	川西町15-3
木口記念会館	約500人	呉川町14-10
芦屋松浜ハイツ	約1,800人	松浜町5-15
県立国際高等学校・芦屋国際中等教育学校	約1,700人	新浜町1-2
UR都市機構芦屋浜団地	約7,000人	高浜町・若葉町
県公社 高浜町・若葉町団地	※現在、協議中	
県 営 芦屋浜高層団地	※現在、協議中	
追加指定分	8カ所	収容人数計 14,310人

本市の「津波一時避難施設」および収容可能人数(総計)22カ所(45棟)/約31,980人収容(平成24年4月1日現在)

【参考】本市における南海地震等に伴う津波浸水被害想定
平成23年10月に県が公表した南海地震等に伴う暫定的被害想定によると、本市における暫定津波高は、4.2~5.0mと想定され、阪神間の防潮門扉が閉鎖できなかった場合、約1.0km²(地域の5.6%)が浸水想定区域とされ、その区域内人口は約15,000人(約5,900世帯)と見込まれています。
平成24年3月の国の検討会による公表では、津波高は3.6mと想定され、浸水想定区域は今後公表される予定です。
市では、想定を超える災害に備え、その区域外の地域も含めて、津波からの一時避難施設の指定を進めています。

【災害時における段ボール製品等の供給協定の締結について】

災害時の避難所での避難生活環境改善の一環として、現在注目されている「段ボール製簡易ベッド」等の供給について、本市は、2月1日にセッツカートン株式会社と協定を締結しました。

この協定により、本市に災害が発生し避難所での生活を余儀なくされた場合に、高齢者等に配慮した「簡易ベッド」など段ボール製品の優先供給を得られることになりました。

問い合わせ 防災安全課 ☎38-2093

あしや山まっりのフリーマーケット出店者募集

■日時 5月13日(日)午前11時~午後2時<雨天中止> 午前9時30分から設営可 ■会場 奥池あそびの広場 ■出店品目 衣料品(クリーニング済みのもの)・日用雑貨など(食料品不可) ■募集ブース数 3ブース(3m×3m) 先着順 ■出店料 1ブース1,000円 ■申し込み 電話で、出店者名・電話(ファクス)番号・出店品目を、5月1日(火)までに下記へ 搬入・搬出時、ブースへの車の乗り入れはできません。撤去は午後2時からです。

問い合わせ
山まつり実行委員会 ☎38-2033/☎38-2176(経済課内)

「芦屋病院」リニューアルオープン

問い合わせ 芦屋病院 ☎31-2156

四月二十三日から、消化器センター・人間ドックセンター等が新設されます。また、リハビリテーション科・薬剤科が移転します。

【新病棟一階】
リハビリテーション科は南玄関ロビーに隣接し、駐車場が完成した時にはガラス張りで開放的な空間となります。

【新病棟二階】
新病棟二階には、消化器内科チームこだわりの消化器センターや人間ドックセンターが完成します。

消化器センターでは、最新の医療機器が整備され、今まで以上に安心して検査を受けられる環境を整えています。

新病棟の一部オープン

【外來棟三階】
外來棟三階には臨床検査科と救急外来部門が設置されています。救急外来部門は診療スペースがオープン化され、スタッフ動線が改善され、迅速な対応が可能になります。

【外來棟四階】
四月から、外來棟西側現在の総合受付部門・薬剤科スペースの改修工事がスタートします。

【外來棟五階】
今回の改修では各科の診療スペースをすべて五階に集約しており、外来診療で特に利用の多い中央採血室・心電図・エコーなどの検査スペースも、同じ五階に設置しています。

外來棟も新しくなります

芦屋病院新病棟完成予想図



*東側道路から見た予想図

平成24年度 組織改正・人事異動

平成24年度の組織改正については、児童福祉法の一部改正に伴い、児童デイサービスを児童発達支援事業に移行することから、すくすく学級を障害福祉課から子ども課に移管。障害者虐待防止法および障害者総合福祉法(仮称)への対応・準備のため、障害福祉課に担当を新設。こども・子育て支援施策について、今後の国の制度改正の動向等に迅速に対応するために、こども課に担当を新設。道路課および防災安全課の事務事業を見直し、防災安全課から交通安全啓発に関する事務を道路課に移管し、道路課に担当を新設したことなどの組織改正等を行いました。

要員については、限られた人員で市民ニーズに即した事務事業を実現するため、民間活力の導入を引き続き図りながら、それぞれの事務事業の進捗状況等に見合った組織の確立や人員配置を考慮し、簡素で効率的な組織体制を目指しました。

人事異動では、引き続き多くの職員が定年等で退職したため、今後の職員構成を見据え

ながら、組織機能のより一層の活性化・円滑化を図るため、各職階において若手職員をはじめ、女性職員の積極的な登用も行き、部長級11人、課長級48人を含む総勢261人の人事異動を行いました。

【部長級以上の異動】
総務部長・佐藤徳治/総務部参事(財務担当部長)・山本靖博/市民生活部長・北川加津美/保健福祉部長・寺本慎児/教育委員会管理部長・山口謙次/芦屋病院人間ドックセンター長(兼職)・小川法次/芦屋病院消化器センター長(兼職)・竹田晃/芦屋病院診療局内科参事(腫瘍内科部長)(兼職)・白鹿正通/芦屋病院診療局小児科部長・森田拓/芦屋病院診療局薬剤科部長・岡本禎晃/芦屋病院事務局長・古田晴人

【部長級以上の退職】〔 〕内は旧役職名
南雲直樹(総務部参事(財務担当部長)) / 竹内恵一(市民生活部長) / 磯森健二(保健福祉部長) / 古林孝保(芦屋病院診療局内科参事(腫瘍内科部長)) / 原田由利香(芦屋病院診療局小児科部長) / 波多野正和(教育委員会管理部長)

問い合わせ 人事課 ☎38-2019